

中国企業が注目する中国ビジネスの最新動向

—— 日系企業の提携先となり得るのは

中国における有望な投資分野とは。どういった点に注意すればよいか。

(2021年11月18日開催、日外協 中国シリーズ講演会「中国の最新事情～日系企業の提携先となり得る中国企業が注目する中国ビジネスの最新動向～」から抜粋)

金杜法律事務所 (King & Wood Mallesons)

弁護士 **劉 新宇**

弁護士 **韓 暉**

インターネット関連産業が急成長

中国における有望な投資分野は、従来からの製造業だけではない。第三次産業が急成長し、投資先になり得る分野は多様化している。

2020年の中国の国民1人当たりの年間消費支出は2万1210元(約38万円)。内訳は食品・煙草・酒が最大で30%、次いで住宅の25%。交通・通信13%、教育・文化・エンターテインメント9%、医療・保健9%が続く。

ネット通販消費額は毎年記録を更新している。2021年のW11(ダブル・イレブン)「独身の日」における天貓(TAOBAO)の売上高は5403億元(約9兆6660億円)、ネット全体では9651.2

億元(約17兆2660億円)だった。農村部の老人もネット通販を利用する時代。ショッピングモールは売り上げを落としており、食事をしたり、子どもを遊ばせる場、新しい服を試着する場になりつつある。

巨大な市場を武器に中国企業の躍進は著しい。2021年、「フォーチュン・グローバル500」で発表された世界500強企業に、中国からは最多となる143社がランクイン。2年連続で米国を超えた。中国企業のうち、国有企業は95社、民間企業は34社、香港・マカオ・台湾の企業は14社。中国勢のトップは国家电网有限公司で、世界2位。主要業界は金属製品、保険、銀行、工事・建設、貿易、採鉱、不動産、エネルギー、自動車など。特にインターネット関連産業が急成長を遂げている。

国有企業や大手企業は外資の技術を、中小企業は資金のほか、外資と組むことで政府からの支援を受けられるようになることを期待している。

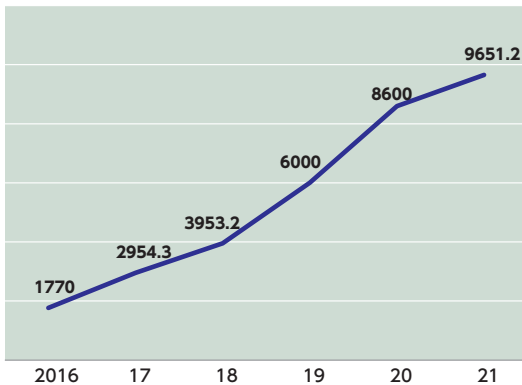
中国企業が注目する分野

インターネット産業

中国で注目すべき分野としてまず挙げられるのは、デジタル・エコノミーをリードするイン

ネット通販売上高の推移

(単位：億元)



出所：講演資料から(講師作成)